令和６年度 西部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位：μ（マイクロシーベルト）Ｓｖ／時）

Ｓｖ（シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ（マイクロ）　　：10^{-6}（100 万分の 1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
第１回目	令和６年４月 10 日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05
第２回目	令和６年５月８日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06
第３回目	令和６年６月 12 日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.05
第４回目	令和６年７月 10 日	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06
第５回目	令和６年８月 14 日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06
第６回目	令和６年９月 11 日	0.07	0.05	0.06	0.06	0.06
第７回目	令和６年 10 月９日	0.08	0.06	0.06	0.07	0.06
第８回目	令和６年 11 月 13 日	0.08	0.06	0.06	0.07	0.06
第９回目	令和６年 12 月 19 日	0.08	0.05	0.06	0.08	0.06
第 10 回目	令和７年１月８日	0.08	0.06	0.07	0.07	0.06
第 11 回目	令和７年２月 12 日	0.08	0.06	0.07	0.07	0.06
第 12 回目	令和７年３月 12 日	0.07	0.05	0.07	0.07	0.06

※ １か月に１回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約 1ｍの高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位：Ｂｑ／ｋｇ）

Ｂｑ（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

実施回※1	採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウムの合計
第１回目	令和６年５月７日	飛灰※2 ※3	不検出	53	53
第２回目	令和６年11月１日	飛灰※2 ※3	不検出	41	41
		焼却残渣※4	不検出	不検出	不検出
		炉砂※5	不検出	11	11

※1 埋立て先である地元の自治体等の要請に応じた頻度で測定を実施。

※2 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※3 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。

※4 焼却残渣とは、燃やしたごみに含まれる未燃分（主に小石や金属類）をいう。

※5 炉砂とは、流動床式焼却炉においてごみを燃やすために用いる砂のことをいう。